

令和5年度 学校関係者評価報告書

大阪市立天下茶屋小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

学校生活アンケートや検証資料の結果から、学校が子どもたち一人ひとりにあった教育活動を行っていることがうかがえる。また、ホームページやメール配信等の情報発信により、子どもたちの学習状況がたいへん分かりやすく、地域や保護者など外部からも日頃の教育活動状況が把握しやすいところも評価できる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和5年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和5年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- 令和5年度3学期における校内アンケートで、「あいさつがしっかりできている」と答える児童の割合を全体の70%以上にする。
- 令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和5年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

- ・達成状況や進捗状況の評価に関しては妥当かと思われる。学校生活アンケートの「あいさつがしっかりできている」の児童の割合が84%と高くなっているので、あいさつ習慣等の取り組みを継続してほしい。
- ・不登校の児童が減っているとの報告を聞いた。今後も子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようにしてほしい。

年度目標：【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 令和5年度の小学校学力経年調査において、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

学校の年度目標

- 令和5年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し前年度より向上させる。

	H30	H31	R2	R3	R4
3年生	92.8	99.1	94.0	99.7	103.5
4年生	94.8	89.4	103.3	93.6	100.2
5年生	96.3	93.9	95.0	100.1	95.2
6年生	96.4	96.3	95.9	94.7	100.1

- 令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	41.9	9.7	21.6	15.8
令和3年度	12.5	34.4	14.3	23.6
令和4年度	6.3	11.4	20.7	5.7

- 令和5年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント増加させる。

	3年生	4年生	5年生	6年生
令和2年度	19.4	32.3	3.9	10.5
令和3年度	21.9	9.4	25.7	7.3
令和4年度	40.6	22.9	17.2	17.1

- 令和5年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合を前年度より向上させる。(R4:71%)

- 令和5年度の 全国体力・運動能力、運動習慣調査 において、全ての項目について令和4年度の結果を維持する。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20M シャトル	50M 走	立ち幅跳び	ソフト投げ	体力合計点
男	19.43	19.86	32.93	26.86	30.71	9.73	139.64	15.83	45.92
女	17.67	18.11	40.33	28.61	26.94	9.59	137.28	10.78	50.17

R4 結果

- 令和5年度末の運動におけるアンケートで、なわとびカードの目標や自分の目標を達成できたと答える児童の割合が85%以上にする。(R4:85%)

- ・達成状況や進捗状況の評価に関しては妥当かと思われる。体力に関してはおおむね目標を上回る結果となったが、学力の低下が懸念される。学年ごとの推移が表にもあらわれているので、

数値の低い学年は重点的に取り組みをすすめてほしい。

- ・体力・運動能力が向上していたので安心できる。学校でのかけあし・なわとび週間等の取り組みは効果的だと思われるので、継続していただきたい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標(小・中学校)

- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。
- 令和5年度の小学校学力経年調査におけるデジタル教材を使った学習は楽しいですかの項目に対して「楽しい」と答える児童の割合を前年度以上にする。前年度(R4:66.4%)
- 令和5年度の教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。(R4:78.9%)

学校の年度目標

- 「ゆとりの日」NO会議デーを月1回設定する。
- 定時(17:00)セットの日を学期に1回設定する。
- 令和5年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者や地域と連携した教育活動を進めている」と肯定的に答える保護者の割合を前年度以上にする。前年度(R4:82.4%)

- ・達成状況や進捗状況の評価に関しては妥当である。タブレットを有効に活用できているようなので、子どもたちが積極的に学習に取り組めるよう、さらに工夫してほしい。
- ・教職員の働き方改革が実を結んでいる。過労により、子どもたちと向き合える気力が減退しないように、また、ゆとりの日なども積極的に活用しながら意欲的に業務に向き合えるよう、さらにはすすめてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

いずれの取組内容において、指標となる児童及び保護者アンケートの結果や各種調査では、各項目とも概ね目標に達しているか、上回っている。それぞれの取り組みの成果が少しづつあがっていると考えられる。次年度以降も継続して成果があがるよう取り組んでほしい。